

公益財団法人土科学センター財団

HP : <https://geo-kagaku.or.jp/>

団体概要

私達の身近な存在である「土」は、生活の空間である建物支え、健康な体を作る農作物の実り育み、陶磁器を作る原材料になるなど多くの恵みを与えてくれる存在ですが、一方で、土砂崩れや地震による液状化など生活に災厄を与えることもあります。このような特性を有する「土」を、理科・防災の分野のみならず文化を含めた広域な分野としてとらえ、「土科学」と称する「人」と「土」との関わり、の重要性を知っていただき、豊かな生活を行うことが社会の構築を目指すことを目的とした財団です。

支援対象

小学校/中学校

活動内容・活動状況

～国土を形成する大地の骨格をなす「土」についての学習の場を提供します～

小学校、中学校で学ぶ地学部門の学習内容の中から、私達の身近な存在である「土/土壌」を取り上げて、生活の視点から斜面災害、地震防災や食文化等を学習する場を提供します。親御さんも一緒に参加いただけるような場を提供頂ければ、家族で話し合いの機会にもなると思います。

<学校での活動について>

① 背景

この財団の主な事業は「土科学」に関する理学・工学～人文・社会科学の研究者に対する助成事業を行っており、その研究成果を報告する財団講演会を年一回、実施しています。その際に、「土科学」を知っていただくために「土」に関する特別講演も実施しており、好評を博しています。そこで、これからの世代を方(小中学生を対象)に、土科学を知ってもらう機会を作ろうと考えました。

② 活動内容

豊かな生活のために「土科学」についてもっと知っていただくことを目的に、小・中学生を対象として、防災・文化に関する出前授業、課外授業(講演会場での聴講)、学校での講演会を企画しました。学校での活動の実績はありませんが、講演会運営の実績を活かして、活動いたします。

③ 体制

小・中学生向けの学習の場の提供活動に賛同いただいた「六連星の会」の皆さん(専門家・一般向けに出版した「地質職人たちのアーカイブス 2016年10月郁朋社)は、未来を背負う子供たちのために、続編を構想中であり、この内容をご発表いただくことで、協力して活動します。

対応可能時期

6月～12月(実施可能な日程は調整させていただきます)

必要経費

学校側で負担いただく費用はございませんが、学校施設の利用、備品等の貸し出しについては無償でご協力いただきたく存じます。

会場・定員・必要備品等

会場:教室または講堂 定員:30～120名 設備:音響、プレゼンター、インターネット設備(必要な場合) ※詳細はお打合せください。



財団講演会の風景

担当者より一言

財団は 2017 年 10 月 6 日に一般財団法人として設立し、 2019 年 3 月 1 日には、公益財団法人の認定を受けました。設立当時は工学関連の専門家による講演でしたが、少しずつ講演内容の領域を広げ、今回 TEPRO 様のご協力を得て、小中学生向けの学習の場を提供いたします。是非、お問合せ頂けますようお願いいたします。